

病害虫発生予察情報

東京都病害虫防除所

向こう1ヶ月(4月)の予報

〒190-0013 立川市富士見町 3-8-1

平成26年度 予報第8号

Tel 042-525-8236 Fax 042-529-0943

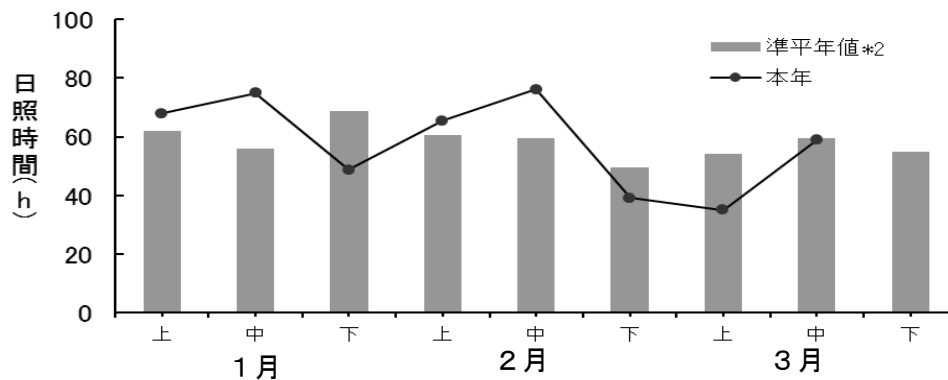
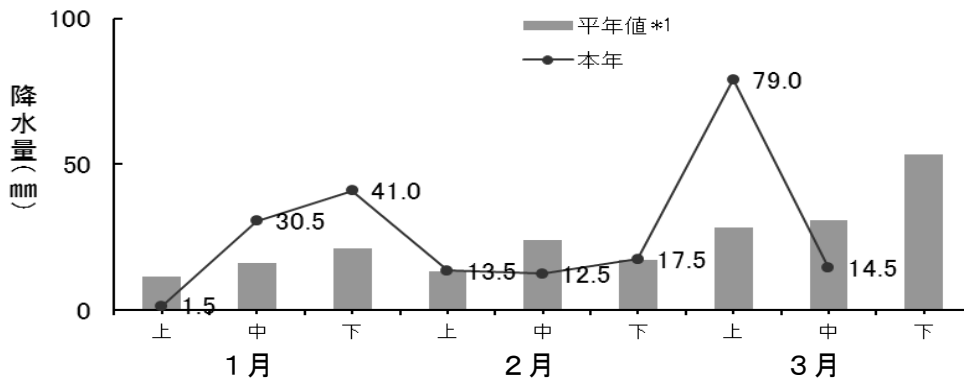
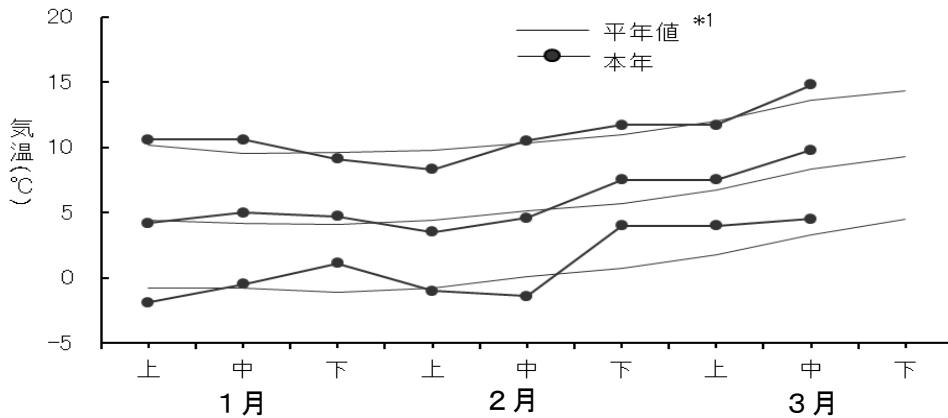
<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

e-mail: S0200303@section.metro.tokyo.jp

【気象予報】2015年3月19日 気象庁 地球環境・海洋部発表, 関東甲信地方の1か月予報より

確率	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
	気温	20	40	40
	降水量	40	40	20
	日照時間	20	30	50

【気温・降水量・日照時間の経過】 準平年値と本年の3月中旬までのデータを示した。
(東京都府中市 気象庁気象観測所データ)



*1: 1981-2010 の平均値, *2: 1987-2010 の平均値

トマト黄化葉巻病の感染の輪を断ち切りましょう！

★ 気温が上昇すると、媒介虫であるタバココナジラミは、露地でも生存可能となります。今春は、2月下旬から気温の高い日が続いており、今後もその状態が続くと予想されるため、注意が必要です。

★ 多発生ハウスは収穫を早目に終了し、ハウス内を蒸しこむ等タバココナジラミの施設外への分散を防ぎましょう！

★ 半促成栽培では、黄色粘着トラップで侵入監視を行い、発生を確認したら防除指針を参考に薬剤散布を行いましょう！

【病害虫発生予報】（各根拠に記した（ ）内記号は発生助長要因の強度を示す）

I. 果樹の病害虫

1. ナシ赤星病

予報内容

発生時期 並

発生量 並

予報の根拠

1) 昨春の発生は平年並であった（±）。

2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～少ないと予想される（±）。

防除上考慮すべき事項

1) 防除指針に従い適期を逃さないように防除する。

2) 薬剤散布は降雨の前後に行う。

II. 茶樹の病害虫

1. カンザワハダニ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

1) 巡回調査では、発生は少なかった（-）。

2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～少ないと予想される（+）。

防除上考慮すべき事項

1) 4月中旬より個体数が増加すると考えられるので、萌芽前に防除指針に従い防除する。

III. 野菜の病害虫

1. トマト灰色かび病（施設）

予報内容

発生量 並

予報の根拠

1) 巡回調査では、各地とも発生は平年並であった（±）。

2) 今後、本病の増加しやすい時期に入る（+）。

3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～少ないと予想される（±）。

防除上考慮すべき事項

1) 施設内が過湿にならないように注意し、罹病果実等は施設外に持ち出し、

適切に処分する。

- 2) 防除指針を参考に系統の異なる薬剤をローテーション散布する。

2. トマト葉かび病（施設）

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、少なかった(－)。
- 2) 今後、本病の増加しやすい時期に入る(+)。
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～少ないと予想される(±)。

防除上考慮すべき事項

- 1) 病斑の多発した葉は除去する。
- 2) 葉かび病抵抗性品種でも発生する場合があるため、発生を認めた場合は速やかに防除指針を参考に防除する。
- 3) 類似症状を示す「すすかび病」が発生している場合があるので注意する。

3. ネギさび病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少なかった(－)。
- 2) 昨年、秋期の発生は少なく、越冬菌密度は少ないと考えられる(－)。
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～少ないと予想される(±)。

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生初期に防除指針を参考に防除する。

4. イチゴ灰色かび病（施設）

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は平年並である(±)。
- 2) 今後、本病の増加しやすい時期に入る(+)。
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～少ないと予想される(±)。

防除上考慮すべき事項

- 1) 施設内が過湿にならないように注意し、罹病果実等は施設外に持ち出し、適切に処分する。
- 2) 摘花、摘葉した傷口からも発病しやすいので注意する。
- 3) 防除指針を参考に系統の異なる薬剤をローテーション散布する。

5. コナガ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査によると、各地とも発生量は少ない(－)。
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～少ないと予想される(+)。

防除上考慮すべき事項

- 1) 苗圃では、防虫網などを利用して、成虫の侵入を防止する。

2) 防除指針を参考にして、系統の異なる薬剤をローテーション散布する。

6. コナジラミ類（施設）

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査によると、各地の発生は少ない(－)。
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～少ないと予想される(+)。

防除上考慮すべき事項

- 1) 今後気温の上昇と共に増加するので、防除指針に従い適期防除を行う。
- 2) タバココナジラミが確認された圃場では、バイオタイプQに効果のある薬剤を散布する。

7. ハモグリバエ類（施設）

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査によると、ナモグリバエの発生は各地とも少ない(－)。
- 2) ハウストマトや育苗中の果菜類などのハモグリバエ類の発生は少ない(－)。
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～少ないと予想される(+)。

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

8. ホウレンソウおよびコマツナのモモアカアブラムシ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査によると、各地での発生は少ない(－)。
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～少ないと予想される(+)。

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生を見たら防除指針に従い防除する。

9. ネギ・タマネギのネギアブラムシ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査によると、各地での発生は少ない(－)。
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～少ないと予想される(+)。

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。
- 2) ネギアブラムシは萎縮病を媒介するので注意する。

10. イチゴのハダニ類（施設）

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査によると、各地での発生は少ない(－)。

2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～少ないと予想される(+)。

防除上考慮すべき事項

1) 今後気温の上昇と共に増加するので、防除指針に従い適期防除を行う。

☆ 東京都病虫害防除指針：最新版をご覧ください ☆

☆ 防除指針オンライン版は平成26年版を公開中です ☆

(防除指針正誤表などの最新の情報をホームページ等でご確認下さい)

インターネット上の防除所ホームページ

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

病虫害の発生予報、発生状況、防除方法
などをお知らせしています。